

東日本大震災に係る被害状況の概要

1 地震の概況

- | | |
|-----------|---|
| (1) 発生日時 | 平成 23 年 3 月 11 日 (金) 14 時 46 分頃 |
| (2) 震央地名 | 三陸沖 (北緯 38.1 度, 東経 142.8 度 牡鹿半島の東約 130km) |
| (3) 震源の深さ | 約 24km |
| (4) 規模 | マグニチュード 9.0 |
| (5) 最大震度 | 震度 7 (栗原市) |
| (6) 津波 | 7.2m (仙台港) 痕跡等から推定した津波の高さ (平成 23 年 4 月 5 日気象庁発表)
8.6m 以上 (石巻市鮎川) 津波計等による津波の最大の高さ (平成 23 年 6 月 3 日気象庁発表)
※最大で内陸 5km まで津波が到達
※県土の約 4.5% に当たる 327 km ² が浸水 |

2 被害の状況等 (8 月 10 日現在)

- | | | |
|-----------------------|---------------------------------------|-------------------|
| (1) 人的被害 (継続調査中) | | |
| 死者 | 9,296 人 | |
| 行方不明者 | 2,418 人 | |
| 重傷 | 398 人 | |
| 軽傷 | 3,396 人 | |
| (2) 住家・非住家被害 (継続調査中) | | |
| 全壊 | 70,904 棟 | } 住家被害計 286,201 棟 |
| 半壊 | 70,531 棟 | |
| 一部破損 | 128,320 棟 | |
| 床上浸水 | 6,776 棟 | |
| 床下浸水 | 9,670 棟 | |
| 非住家被害 | 26,479 棟 | |
| (3) 避難の状況 (ピーク時) | | |
| 避難所数 | 1,183 施設 (35 市町村) | |
| 避難者数 | 320,885 人 | |
| (4) ライフライン関係被害 (ピーク時) | | |
| 電気 | 停電戸数 | 1,545,494 戸 |
| 水道 | 給水支障 | 35 市町村 |
| ガス | 供給支障 | 13 市町 |
| 下水道 | 処理場被災 | 22 ヶ所 |
| (5) その他の主な被害 | | |
| (土木施設) | | |
| ・道路施設 | 県管理道路 110 路線で規制 (274 箇所), 落橋 12 箇所 | |
| ・河川施設 | 県内 146 河川 (617 箇所) で被災 | |
| ・港湾施設 | 取付護岸の崩壊, エプロン沈下, コンテナ流出など | |
| ・空港施設 | 浸水により滑走路の使用不可, 空港ビルは中 2 階部分まで水没 | |
| (農林水産施設) | | |
| ・漁港施設 | 142 漁港のすべてが被災 | |
| ・漁船関係 | 約 90% に当たる 12,000 隻が流失・陸に打ち上げられるなどの被害 | |
| ・耕地面積 | の 1 割弱に当たる約 14,300ha が浸水 | |
| (6) 被害総額 | 約 6 兆 7,173 億円 (注: JR 東日本等が調査中につき未計上) | |

東日本大震災被害に係る復旧状況の概要

1 避難の状況 (8月10日現在)

避難所数 203 施設 (19 市町)

避難者数 7,361 人

※被害の大きかった沿岸部の市町村を中心に、3月28日に応急仮設住宅建設着工

8月中旬を目標に累計2万2千戸の完成を目指す。17,276戸(15市町)を完成引渡済み

2 ライフライン関係 (8月10日現在)

- ・電 気 津波の被害を受けた地域を除きすべて復旧 (6/18)
- ・水 道 津波による被害のため、11市町で給水支障あり (未復旧率約4%)
- ・ガ ス 地震・津波により被害が甚大な地域を除きほぼ復旧済み、現在は1市(気仙沼市)で供給に支障あり
- ・下水道 流域下水道処理施設の処理場内において、沈殿・消毒により簡易処理を行いながら復旧工事を進め、平成25年度までに完全復旧

3 その他 (8月10日現在)

(土木施設関係)

- ・道路施設 県管理道路90路線(193箇所)で規制解除
緊急輸送道路は6月末までに67箇所のうち49箇所の通行規制を解除
その他の道路は6月末までに206箇所のうち139箇所の通行規制を解除、少なくとも片側通行を確保して年内に全ての通行規制を解除予定
- ・河川施設 70箇所ですぐ工事を実施、69箇所の仮復旧工事完了
浸水区域外の河川は概ね2カ年、浸水区域の河川は5カ年程度で復旧工事を完了予定
- ・港湾施設 応急復旧により仙台塩釜港(塩釜港区)、気仙沼港、女川港については全岸壁利用可能、仙台塩釜港(仙台港区)、石巻港は全岸壁数のうち8~9割程度利用可能、この4港湾は平成24年度内に完全復旧
- ・空港施設 7月25日から国内線の定期便再開 1日41往復(7月25日~8月31日)(札幌⑬、成田②、小松①、中部⑥、伊丹⑬、広島①、福岡④、沖縄①)
9月25日から仙台~ソウル便再開(アジアナ航空による発表)
10月2日から仙台~グアム便再開(ユナイテッド航空による発表)
仙台空港ビル・仙台空港アクセス鉄道の復旧工事は9月末完了予定

(公共交通機関)

- ・鉄 道 4月29日、東北新幹線の全線で運行再開
在来線各線も順次運行を再開(但し県内5路線に運転見合わせ区間あり)
- ・バ ス 4月18日、仙台近郊路線の通常運行開始(一部区間を除く)
仙台近郊以外の路線も順次運行を再開(一部区間を除く)
- ・離島航路 3月末 3航路(気仙沼~大島、石巻~網地島、塩竈~朴島)暫定運航再開
7月25日、女川~江島航路が暫定ダイヤで運航再開
- ・フェリー航路 名古屋~仙台間の太平洋フェリー定期航路が再開

(農林水産施設関係)

- ・津波浸水被害農地約14,300haのうち一部(約1,100ha)において緊急的な除塩対策を実施し、今年産の水稻作付等を実施

(災害廃棄物処理)

- ・発生量推計 概ね1,500万トンから1,800万トン(土砂を除く)
- ・処理期間 1年以内に現場から一次仮置き場に撤去し、二次仮置き場において概ね3年以内(平成25年度末)を目途に処理